

<概要>

平成3年度、我が国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率は、営業運転中の全発電所（41基、総発電設備容量3,323.9万キロワット）平均で、時間稼働率は74.8%、設備利用率は73.8%であった。全プラントの運転状況を見ると、前年度に比べて、故障・トラブルによる停止期間が半減し、定期検査による停止期間は前年並で、設備利用率はやや増加した。

<更新年月>

1998年05月 （本データは原則として更新対象外とします。）

<本文>

平成3年度、我が国の原子力発電所の時間稼働率を表1-1と表1-2に、設備利用率を表2-1と表2-2に示した。これらの表によれば、営業運転中の全発電所（41基、総発電設備容量3,323.9万キロワット）平均で、時間稼働率は74.8%、設備利用率は73.8%であった。全プラントの運転状況を見ると、前年度に比べて、故障・トラブルによる停止期間が半減し、定期検査による停止期間は前年並で、設備利用率はやや増加した。

BWRは、昨年引き続き好調であった要因としては、前年度と比べて定期検査の件数が減少したことが考えられる。

またPWRは、前年度並であった。

平成3年度中に定期検査を終了したプラントの平均検査期間は143日（4.8月）となり、平成2年度と比較して34日（1.1月）減となっている。なお、本年度の平均運転期間は297日と減少した。

故障・トラブルによる運転停止頻度及び故障・トラブルの件数は、ここ数年低い水準で推移している。

平成3年度の新規運転プラントは次の2機である。

北海道電力（株） 泊発電所 2号機（PWR 57.9万キロワット）

（平成3年4月12日運開）

関西電力（株） 大飯原子力発電所 3号機（PWR 118.0万キロワット）

（平成3年12月18日運開）

<関連タイトル>

[日本の原子力発電所の時間稼働率の推移（2004年度まで）（02-05-02-01）](#)

[日本の原子力発電所の設備利用率の推移（2004年度まで）（02-05-02-02）](#)

[平成3年度我が国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率（12-01-01-13）](#)

<参考文献>

(1) 通商産業省資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課編、平成5年度版（平成4年度実績）原子力発電所運転管理年報

(2) 科学技術庁原子力安全局編（平成5年）：平成4年度の原子力発電所における設備利用率について、原子力安全委員会月報、通巻第175号

表1-1 我が国の原子力発電所の時間稼働率

設置者名	発電所名	認可出力 (MW)	時間 稼働率
日本原子力 発電	東海	166	75.0
	東海第二	1,100	76.7
	敦賀1号	357	77.0
	〃 2号	1,160	78.4
北海道 電力	泊1号	579	75.3
	〃 2号	579	*82.1
東北電力	女川1号	524	79.4
東京電力	福島第一1号	460	31.5
	〃 2号	784	48.3
	〃 3号	784	61.1
	〃 4号	784	89.3
	〃 5号	784	77.6
	〃 6号	1,100	77.4
	福島第二1号	1,100	90.3
	〃 2号	1,100	75.2
	〃 3号	1,100	67.8
	〃 4号	1,100	80.3
	柏崎刈羽1号	1,100	91.0
	〃 2号	1,100	75.7
	〃 5号	1,100	77.6
中部電力	浜岡1号	540	61.5
	〃 2号	840	80.0
	〃 3号	1,100	73.9

(注) 1. ユニット毎の時間稼働率 = $\frac{\text{稼働時間数}}{\text{暦時間数}} \times 100(\%)$

2. 合計機の時間稼働率 (平均時間稼働率) = $\frac{(\text{認可出力} \times \text{発電時間})\text{の合計}}{(\text{認可出力} \times \text{暦時間})\text{の合計}} \times 100(\%)$ (平均時間稼働率とは出力按分したものである。)

3. *印の欄は当該発電所の運開始年度にあたり、運転開始以降の暦時間数に基づく時間稼働率を計上してある。

(出典) 資源エネルギー庁 (編) : 原子力発電所運転管理年報、平成5年度版

表1-2 我が国の原子力発電所の時間稼働率

設置者名	発電所名	認可出力 (MW)	時間 稼働率
関西電力	美浜 1号	340	69.8
	〃 2号	500	0.0
	〃 3号	826	81.4
	高浜 1号	826	88.8
	〃 2号	826	41.6
	〃 3号	870	88.1
	〃 4号	870	84.6
	大飯 1号	1,175	58.7
	〃 2号	1,175	69.3
	〃 3号	1,180	*100.0
	〃 4号	(1,180)	—
中国電力	島根 1号	460	94.4
	〃 2号	820	81.3
四国電力	伊方 1号	566	73.1
	〃 2号	566	93.8
九州電力	玄海 1号	559	60.1
	〃 2号	559	100.0
	川内 1号	890	76.4
	〃 2号	890	76.9
合 計	33,239	74.8	

(参 考)

動燃事業団	ふげん	165	78.7
-------	-----	-----	------

- (注) 1. ユニット毎の時間稼働率 = $\frac{\text{稼働時間数}}{\text{暦時間数}} \times 100(\%)$
2. 合計欄の時間稼働率 (平均時間稼働率) = $\frac{(\text{認可出力} \times \text{発電時間})\text{の合計}}{(\text{認可出力} \times \text{暦時間})\text{の合計}} \times 100(\%)$ (平均時間稼働率とは出力按分したものである。)
3. *印の欄は当該発電所の運開初年度にあたり、運転開始以降の暦時間数に基づく時間稼働率を計上してある。

(出典) 資源エネルギー庁 (編) : 原子力発電所運転管理年報、平成5年度版

表2-1 我が国の原子力発電所の設備利用率

設置者名	発電所名	認可出力 (MW)	設備 利用率
日本原子力 発電	東海	166	61.3
	東海第二	1,100	76.2
	敦賀1号	357	75.9
	〃 2号	1,160	77.8
北海道 電力	泊1号	579	74.0
	〃 2号	579	81.6
東北電力	女川1号	524	77.2
東京電力	福島第一1号	460	31.1
	〃 2号	784	45.8
	〃 3号	784	60.1
	〃 4号	784	88.6
	〃 5号	784	77.0
	〃 6号	1,100	76.6
	福島第二1号	1,100	89.4
	〃 2号	1,100	74.3
	〃 3号	1,100	67.0
	〃 4号	1,100	79.1
	柏崎刈羽1号	1,100	90.3
	〃 2号	1,100	74.8
	〃 5号	1,100	77.0
中部電力	浜岡1号	540	60.4
	〃 2号	840	79.5
	〃 3号	1,100	73.6

(注) 1. ユニット毎の設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間数}} \times 100(\%)$

2. ※印の欄は当該発電所の運開始年度にあたり、運転開始以降の暦時間数に基づく設備利用率を計上してある。

(出典) 資源エネルギー庁(編): 原子力発電所運転管理年報、平成5年度版

表2-2 我が国の原子力発電所の設備利用率

設置者名	発電所名	認可出力 (MW)	設備 利用率
関西電力	美浜 1号	340	68.2
	〃 2号	500	0.0
	〃 3号	826	80.6
	高浜 1号	826	87.6
	〃 2号	826	40.9
	〃 3号	870	87.4
	〃 4号	870	83.9
	大飯 1号	1,175	57.7
	〃 2号	1,175	66.9
	〃 3号	1,180	100.0
	〃 4号	1,180	
中国電力	島根 1号	460	93.9
	〃 2号	820	80.7
四国電力	伊方 1号	566	75.0
	〃 2号	566	92.3
九州電力	玄海 1号	559	59.8
	〃 2号	559	99.5
	川内 1号	890	74.8
	〃 2号	890	75.7
合	計	33,239	73.8
(参考)			
動燃事業団	ふげん	165	77.1

(注) 1. ユニット毎の設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間数}} \times 100(\%)$

2. *印の欄は当該発電所の運開始年度にあたり、運転開始以降の暦時間数に基づく設備利用率を計上してある。

(出典) 資源エネルギー庁(編): 原子力発電所運転管理年報、平成5年度版